

計画事業番号	00851	事務事業名	おためし移住事業	担当部署	企画財政部企画課	電話	688
--------	-------	-------	----------	------	----------	----	-----

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	根拠法令等	北広島市おためし移住事業実施要綱				
事務事業開始年度	平成26年度	個別計画等					
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第6章)	にぎわい・活力のあるまち
	(第4節)	行財政運営・行革の推進
	(施策1)	効率的な行財政運営
2 対象	北広島市に移住を検討する20歳以上の方(北広島市民以外)	
3 目的と内容	定住人口の増加に向けて、定住化に向けたおためし移住制度を実施し、きたひろしまが持つ住み良い環境への理解などを深めていただくとともに、体験をモニターとして事業への反映、情報発信など活用する。	
4 実施内容(手段)	27年度まで	<ul style="list-style-type: none"> ○東部小学校管理者住宅の跡施設1棟を利用して、H26.7月より事業実施 ○H27.7月より もう1棟も活用し、2棟体制で事業実施 ○住宅のクロス修繕、家電・家具や食器類の整備、市外への事業PR ○おためし移住体験者の申込受付、決定や市内案内などの対応
	28年度	<ul style="list-style-type: none"> ○市外への事業PR ○おためし移住体験者の申込受付、決定や市内案内などの対応

【事業の計画・実績】

平成27年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度
計画	実績	計画	計画	計画
おためし移住事業の実施及びモニター発信	実施期間:H27.4~H28.3 利用者:12組、27名 利用日数:293日(延べ) モニター発信回数:248回	おためし移住事業の実施及びモニター発信	おためし移住事業の実施及びモニター発信	おためし移住事業の実施及びモニター発信

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成29年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度2次評価	要検討	定住人口増加に向けた諸施策との連携体制について検討すること。	「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	要検討	定住人口増加に向けた諸施策との連携や、おためし物件の拡充などについて、継続して検討を進める。	
2次評価	要検討	引き続き、定住人口増加に向けた諸施策との連携体制について検討すること。	

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
決算額、当初予算額又は推進計画額			1,380	1,533	1,680	1,680
事業額	直接事業費	国支出金	0	124	0	0
		道支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他特財	0	1,284	1,284	1,284
		一般財源	1,380	125	396	396
		① 合計	1,380	1,533	1,680	1,680
	人件費	② 人数(年間)	0.40	0.40	0.40	0.40
		③ 1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
		④ =②×③	3,600	3,600	3,600	3,600
		総事業費①+④	4,980	5,133	5,280	5,280

【評価指標】

指標名		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	①おためし移住利用期間	月	21	24	24	24
		目標値				
		実績値	11			
	②	目標値				
	実績値					
	③	目標値				
	実績値					
	④	目標値				
	実績値					
成果指標	①	目標値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				
	②	目標値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				
	③	目標値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	市の重要課題である定住人口の増加に向けた取組みであり、行政が関与することは妥当である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	H26.7月から事業を実施。H27からは住宅を2棟体制とし、利用者の増加を図っている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	多くの人に魅力ある住環境を体験してもらえるよう、PRの強化等について検討する。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	旧東部小学校管理者住宅の跡施設を利用するなど、最小のコストで事業を実施している。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--